

# 小学校の紹介

麻生区内川崎市立小学校 16 校の  
地域との多様な関り、総合学習などを紹介します。

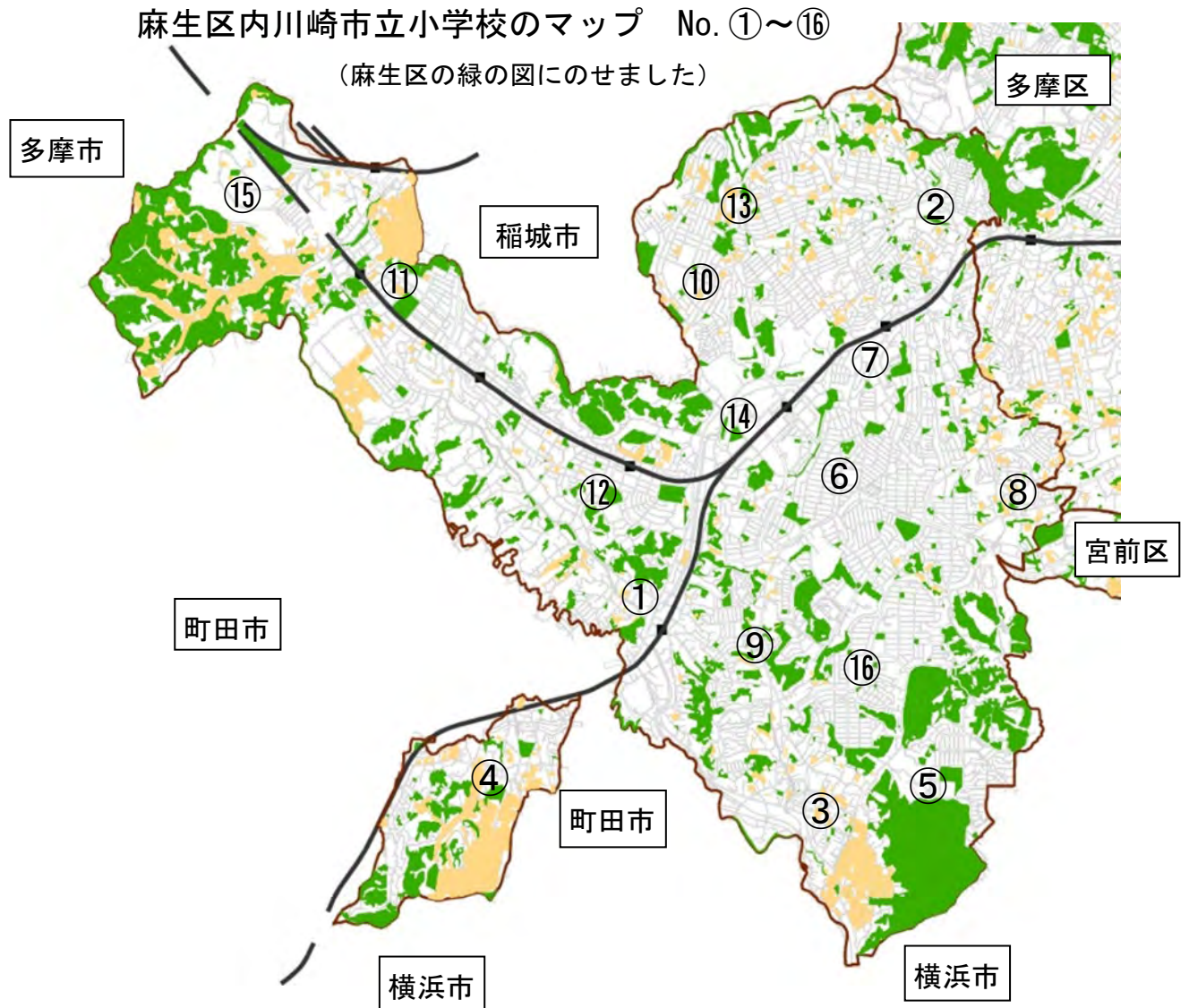
各小学校ではコロナ禍の3年間、子どもたちの学びと健康を守ろうと懸命に努力なされてきました。この2月によく保護者を交えた学習発表会なども行われるようになりました。里山フォーラムとしてもそんな学校の様子を多くの皆様に知って頂き、地域総がかりで子どもや学校を支えていく一助になればと学校紹介の冊子を作成しました。多忙な中原稿を作成してくださった先生方に深く感謝いたします。

2023 年 3 月

## 小学校紹介 もくじ

No.	学校名	ページ
①	柿生小	S. 1, 2, 3
②	西生田小	S. 4
③	東柿生小	S. 5, 6, 7
④	岡上小	S. 8, 9, 10
⑤	虹ヶ丘小	S. 11
⑥	南百合丘小	S. 12, 13
⑦	百合丘小	S. 14, 15
⑧	長沢小	S. 16, 17

No.	学校名	ページ
⑨	真福寺小	S. 18
⑩	金程小	S. 19, 20, 21
⑪	栗木台小	S. 22, 23
⑫	片平小	S. 24, 25
⑬	千代ヶ丘小	S. 26, 27
⑭	麻生小	S. 28, 29, 30
⑮	はるひ野小	S. 31
⑯	王禅寺中央小	S. 32, 33





# 川崎市立 柿生小学校

住所 〒215-0023 川崎市麻生区片平 3-3-1 電話 044-988-0019

(学校創立)  
1873 (明治6) 年 8 月

〈学区域〉  
片平1丁目4番  
片平2~4丁目  
上麻生  
上麻生4丁目52~57番  
上麻生5、6丁目  
上麻生7丁目1~25番, 27~32番,  
34~38番, 39番7号~, 40~44番

## 校歌

(昭和34年制定) 勝承夫 作詞  
平井康三郎 作曲

- |  |  |
|--|--|
| <p>1 みどりの丘に山鳩の<br/>歌がきこえる羽音がひびく<br/>平和な柿生あかるく晴れて<br/>すくすくのびるよ日にのびる<br/>われらは強い子日本の力</p> <p>2 なかよくいつも元氣よく<br/>はげむ勉強きたえるからだ<br/>光もなごむ林に里に<br/>まるまる色づく禅寺丸<br/>自律の氣風も楽しくみのる</p> | <p>3 今年もかえれ空とおく<br/>渡る小鳥に世界を思う<br/>夢わく柿生心をそろえ<br/>みんなで進むよ日に進む<br/>われらは明日まつ日本の力</p> |
|--|--|

## 地域の方に支えられ、柿生の自然、文化を大切にした活動



歴史と伝統に支えられ、地域に愛されて育っている柿生小の児童達。その恩恵を受け、人や地域、自然とふれあう活動を大切にして、学習活動に取り組んでいます。今年も地域の方々や施設のご協力で、全学年が様々な体験活動を展開することができました。

### 1年生

- 生活科の学習で、環境センターにある「緑の公園」に秋探しに出かけました。1回目、2回目ともに、たくさんのドングリやきれいな落ち葉などを見つけて喜んでいました。また、拾ってきた秋のものを使って、ドングリごまや迷路、アクセサリーなどを作って遊びました。学習が終わった後も、中休みには作ったもので友達と楽しそうに遊ぶ姿が見られました。
- 9月、「のびのびファーム」で大根の種植え体験をしました。まだ、暑さが残る日でしたが、子供達は初めて見るピンク色をした大根の種を見て「こんな色なの？」と驚いていました。もらった種を大事そうに握り、畑に丁寧に植えました。また、12月にはその収穫体験もさせていただきました。大きく育った大根を力いっぱい抜き、尻もちをつく子もいました。「こんなに大きくなるんだね」と、収穫した大根を嬉しそうに眺めていました。



## 2年生



- ・5月に、ゆうゆう広場の畑でサツマイモの苗を植えさせていただきました。丁寧に植え方を教えていただき、11月には、収穫にも行きました。大きく育ったサツマイモをたくさん収穫できて子供達は大喜びでした。サツマイモのツルを干し、12月にはクリスマスのリースも作りました。
- ・生活科で町たんけんを行い、学区やお店や公共施設などを見学しました。地域の方々の笑顔に触れ、柿生の町をもっと好きになることができました。

## 3年生

- ・社会科の学習で、まち探検に出かけました。駅前の商店や、緑にあふれた公園、修廣寺さんを訪れ、場所によって様子が違うことに気づきました。柿生のまちのよさにたくさん気づくことができました。
- ・上麻生で今も野菜作りをしている方の畑を見学させていただきました。野菜作りの苦労や喜び、工夫などについて、教えていただきました。身近な場所で農業をされている方がいることを知り、興味をもちました。
- ・総合の学習で「こんなところが自まんでできるよ、柿生の町」に取り組みました。大正時代より片平地区に伝わる「片平囃子」について、片平囃子連の皆さまに教えていただきました。お囃子の演奏を聞き、その後実際に太鼓をたたき経験をしました。



## 4年生



- ・社会科の学習では、川崎市のごみ処理や飲料水の供給について学習しました。「ごみ出前スクール」の体験授業やDVD視聴による浄水場見学など、実際に働く様子を知ることを通して、自分たちの生活が多くの人に支えられていることを学びました。
- ・総合的な学習の時間では、地震災害に備える麻生区や柿生のまちの取り組みについて、区役所の危機管理局の方や消防団の林さんに学校で話を聞きました。実際に自分たちが地域のためにできる防災活動を考え、区役所主催の防災フェスや学習発表会で保護者に発表しました。

## 5年生



- ・校舎の増築で数年間中止していましたが、今年から新しい田んぼでコメ作りを再開しました。地域の長瀬さんに一つ一つ丁寧に教えていただいたことで、今年は15キロもコメを収穫できました。
- ・田んぼと自然のつながりについて学びを広げました。新たに「柿生の里クラブ」の方々に協力をいただきました。「おっ越し山」「柿生の里特別緑地保全地区」での里山の保全活動に参加させていただいたり、専門家にお話を伺ったりと、柿生に残された身近で豊かな自然に目を向けていく学習に取り組み始めました。

## 6年生

- ・総合的な学習の時間では、シビックプライドの育成と関連付け、柿生の町をより良くするために自分ができることについて考えました。

単元名を「柿生 Builders～柿生の未来を創り上げる仲間たち～」とし、地域探索に出かけました。環境センターや美山台公園、駅前交差点、柿生4丁目仲町台公園など、住み慣れた町にも日頃は目に届かない点やあまり行かない場所などに視点を当てる活動となりました。改めて柿生の町の良さや今後の課題点を見直すきっかけとなり、主体的に情報収集することにつながることができました。情報を整理したり、分析したりし、未来で共に協力し合うであろう下級生や、現段階の問題に直面している保護者に、ギガ端末や模造紙などを活用し、思いを発表することができました。



## 学習室



- ・修廣寺で和太鼓を教えていただき、「うさぎのもちつき」「諏訪太鼓」を楽しんだり、先生方の演奏を楽しんだりしました。
- ・夏野菜の栽培では、ピーマン、ナス、ミニトマトを育ててピザパーティーを開きました。また、新しくできた学校の畑でサツマイモを育て、黒川野外活動センターにて焼き芋体験を行いました。

\*子供達は、お世話になった人へお礼の気持ちを手紙に書いたり発表会に招待したりしています。地域の方に支えられながら柿生の文化、自然を大切にする心が育っています。今年の秋(2023.11)には、いよいよ150周年の記念式典です。地域の方々と共にお祝いすることを、今から楽しみにしています。



# 川崎市立 西生田小学校

住所 〒215-0001 川崎市麻生区細山 2-2-1

電話 044-966-5161

## 学校の創立

1864(元治元)年	細山に寺子屋「真川堂」が開かれる
1875(明治8)年	香林寺本堂に細山分教場ができる
1892(明治25)年	尋常第二生田小学校として独立
1938(昭和13)年	川崎市立生田尋常高等小学校細山分教場となる
1941(昭和16)年	川崎市立生田国民学校細山分教場となる
1947(昭和22)年	川崎市立西生田小学校として発足
1960(昭和35)年	現在地に移転



## 校歌

- 中村 雨紅 作詞 海沼 実 作曲
- 雲一つない空のした  
目にしむ緑の野や山に  
お伊勢の森の風かおり  
光あふれる西生田  
日毎に栄える我が学校
  - 小鳥よ花よ窓近く  
希望豊かに胸を張り  
いつでも楽しく学ばわれ  
明るく正しく元気よく  
みんな仲よく伸びてゆく
  - 名前も眺めも美しく  
清く絶えない多摩川の  
流れは世界に続く水  
輝き仰ぐ人の世の  
文化も平和もここに湧く  
ああ 栄えある西生田小学校

## 2年 西生田キラリ☆たんけんたい

2年生は生活科の学習で、西生田の町の『キラリ』と光るところ(素敵)を見付ける学習を行いました。

単元の導入に当たって、各クラスで子ども達にとってお気に入りの場所について話し合いました。子ども達が挙げた思い思いの意見の中には、小さいころから何度も遊びに行っている「多摩美の森」がありました。四季折々に表情を変える自然や、昆虫などのたくさん生き物たちは、子ども達にとって、とても魅力的な場所として記憶されているようでした。

そんな多摩美の森のキラリをもっと探すために、実際に学年全体で探検に出かけました。好きな草花や野鳥などの生き物に心を奪われながら夢中で探検した子ども達。「キノコを育てているみたい!」、「鳥の巣箱を見つけたよ!」などと話しながら、まるで、宝物を見付けに来たかのように、森の中を駆け回っていました。

教室にもどって活動を振り返った際には、多摩美の森の整備された環境に気付き、「きれいにしてくれている人達がいるのかな」と、多摩美の森を守ってくれている方々の存在が気になりました。

疑問に思った子ども達はグループを作り、『多摩美の森の会』の方にインタビューを行うことにしました。インタビューでは、会の方々が、多摩美の森を守るために草刈りや枝払いをしていることや、野菜の栽培、昆虫の調査をしていること、行政や地域の方と協力して森を守っていることなどをお話ししていただきました。子どもたちは、インタビューで聞いたことの中からキラリだと思うことや伝えたいことを選び、それぞれ発表会で伝え合いました。子ども達にとって多摩美の森はますます特別な場所になったことでしょう。





# 川崎市立 東柿生小学校

〒215-0018 川崎市麻生区王禅寺東 6-3-1

電話 044-988-0017

## 〈学校の創立〉

1873(明治6)年 下麻生学舎が麻生不動院を  
仮校舎にして始まる

(↓この間は学校のホームページの沿革史をご覧ください)

1947(昭和22)年 川崎市柿生国民学校下麻生  
分教場が、「川崎市立東柿生小学校」となる

## 〈学区域〉

王禅寺西8丁目24, 25番40~43号

王禅寺東5丁目47番21~28号, 48~51番

52番3, 18~31号, 53~55番

王禅寺東6丁目

上麻生7丁目26, 33, 39番1~6号

下麻生11番

下麻生1丁目

下麻生2丁目1~11, 15~48番

下麻生3丁目

早野 (1150番を除く)

## 校歌

(東柿生) S.37.3.5 制定

勝承夫 作詞 平井康三郎 作曲

- 1 丘越え野超え 吹いてくる  
風が教える 新しい  
世界の文化 若い雲  
進取の精神 東柿生  
われらもたゆまず やりぬく子供
- 2 その名も薫る 禅寺丸  
柿の色どり 美しく  
平和の光 みちわたる  
あふれる健康 東柿生  
心をそろえて みんなで実る
- 3 大海めざす 鶴見川  
いまは小さい われらにも  
大きい明日の 夢がある  
のびゆく学校 東柿生  
仲良く楽しく 進もうわれら

## 学年・テーマ

## 学習内容・取り組んだこと・成果や課題など

### 【1年生】

初めての学校生活でもあり、まずは学校生活に関わる活動を通して、学校の施設や学校を支えている職員について学んだ。

6月になり、近くの王禅寺ふるさと公園に出かけ、友だちと一緒に学習する楽しさを知った。

また、秋には校庭で落ち葉や木の実を見つけ、秋のよさを伝えるために飾ったり遊んだりすることで、身近なものや自然で楽しむことを知ることができた。



### 【2年生】

生活科の学習で6月ごろに自分たちの住んでいる町の様子を知るために町探検に出かけた。探検することで、公園や神社、お店があり、自分たちが住んでいる地域には様々な場所があることを知ることができた。

その中でもっと知りたい場所を訪れ、働いている方々にインタビューをした。

それぞれの場所でわかったことをまとめて、友だちに報告することで、町の方々と自分たちとのつながりや、自分たちのために働いてくれていることがあることなどを知ることができた。



【3年生】

初めて学習する「総合的な学習」では、「地域の魅力を探してみよう」という課題から、東柿生の地域で受け継がれている『禅寺丸柿』について知りたいことを話し合い調べる内容を決めた。まずは学校や家にある本から調べ、わからないことについてはインターネットで検索をしながら学習を進めた。



学習を進めていくうちに、禅寺丸柿に詳しい「禅寺丸柿保存会」の方が地域にいることがわかり、連絡をして話を聞くことができた。保存会の方からは、禅寺丸柿の歴史や育て方、保存会の方々の活動内容や保存することの苦勞など、たくさんのことを聞くことができた。

調べたことや聞いたことなどを含めて新聞にまとめ、友だちと情報交換することで、地域で大切にされている「禅寺丸柿」についてより詳しく知り、自分たちも大切にしていける必要があることを実感した。

【4年生】

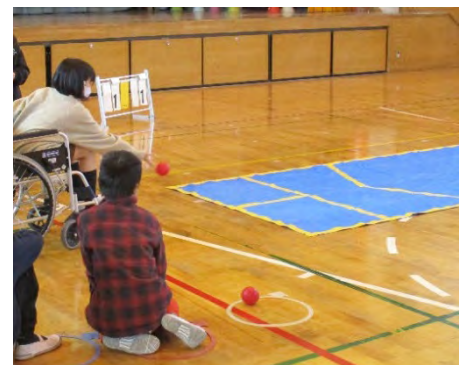
子ども達が自分たちの住んでいる町について振り返った際、「やさしい町・住みやすい町」と考えた。そこで実際に町を探検したところ「自分たちだけでなく地域に住んでいる様々な立場の人達にとってはどうなのか。」という疑問ができた。



そこでまずは、社会福祉協議会の方々に協力をしていただき、「車いす体験」

「アイマスク・点字体験」「老人体験」の3つを体験した。その体験を踏まえて、自分たちの住んでいる地域（お店や駅など）はどうなのだろう、という視点で見直した。

また、元パラリンピックウエイトリフティング日本代表の方に話を聞いたり、福祉施設の職員の方にパラリンピック競技の「ボッチャ」を教えてもらったりすることで、より身近に感じる事ができた。



それらの経験を通して、「もっともっと今まで以上にやさしい町にしていくために自分たちができることは何か」を話し合った。また考えたことを発信し、福祉の目で地域とつながるためにイベントを開く計画を立てている。



## 【5年生】

本校は昨年度より「かわさきSDGsゴールドパートナー」となった。そこでSDGsについての取り組みを考えていく上で、自分たちが住んでいる地域である「早野」で取り組めることはないか、を考えた。みんなで実際に早野をじっくり歩いたり、早野地域でお店をしている「があでん・ららら」や「Slow Farm」を訪れてインタビューをしたりした。また、だれもが働きやすく住みやすい町をめざして取り組んでいる「はぐるまの会」の方々と一緒に共同作業も行った。



それらの活動を通して、早野で自分たちと一緒にSDGsに対する活動をしたことや身近なことから始められることなどを発信するために、「早野SDGsツアー」を自分たちで企画し、運営に向けて学習を進めている。

## 【6年生】

東柿生小学校ではこれまで、里山について学習を受け継いでいる。4月には東京農業大学の先生や学生の方々と一緒に竹の伐採を体験し、非日常の体験から様々なことに気付いたり、楽しさを感じたりすることができ、里山に対する愛着をもつきっかけとなった。大学の先生から話を聞く中で、間伐などをして整備をする必要性があることを知り、実際に笹刈りを行い、里山整備に努めた。



また、市役所の方から、緑地の保全や維持管理、早野の里山は川崎の中でも貴重であることなども教えていただき、地域にある大切な早野の里山をどうしたいか、どうするべきかを考えるきっかけとなった。

様々な体験を通して、自分たちで情報収集や整理分析を行い、話し合いを重ねた。その結果、かわさきSDGsゴールドパートナーとして、緑を残していくための活動を企画することで早野の里山を守ることができると考えた。そこで、現地での竹の間伐体験や竹細工体験、里山の良さを伝えるパンフレットづくりなどを考え、地域の方々や5年生へと伝えていけるように学習を進めている。





# 川崎市立 岡上小学校

住所 〒215-0027 川崎市麻生区岡上 675-1 電話 044-988-8367

## <学校の創立>

1873 (明治 6) 年 岡登学舎開設

この間の変遷は学校ホームページ  
～資料集おかがみ～  
学校のうつりかわりを参照

↓  
1987 (昭和 62) 年

川崎市立 岡上小学校開校

## <学区域>

川崎市麻生区岡上 (全域)

校歌 S. 62. 10. 19

作詞 森久保 安美

作曲 加藤 知典

- 1、歴史を語る 丸山に  
今日も明るく 声ひびかせて  
学ぼう 遊ぼう いきいきと  
みがいて伸ばす ゆたかな個性  
ふれあい楽しく そだつ友情  
かがやけ 岡上 岡上小学校
- 2、光みなぎる 大空に  
未来をひらく 夢はぐくんで  
語ろう 歌おう 胸あつく  
日本の明日に もやす命を  
招く宇宙に おどる心を  
はばたけ 岡上 岡上小学校

## テーマ 「おかがみまるやま 里山 (岡上 丸山) を生かした豊かな体験活動」

本校の裏には丸山という小さな山 (標高 55m) がある。この山は地域の方のご厚意により、長年、岡上小学校の教育活動の中で自由に活用できる環境として位置づけられてきた。平成 27 年より、川崎市の市有地となり、岡上丸山特別緑地保全地区として保全管理されていくこととなった。専門家や地域の方々、保護者・子ども達などから広くアイデアを募り、どのような形で丸山を活用保全していくのかを考えてきた。現在、専門家・地域の方と連携を図りながら子どもたちに学習の場として提供されている。

丸山には、多様な植物の植生が見られる。さらに野鳥の美しい鳴き声が校舎内にまで響くことがある。丸山の麓には谷戸が広がり、学区には鶴見川も流れている。岡上小学校では、こうした丸山、田んぼ、畑などの自然を生かした体験活動を通して、心豊かな児童の育成を目指している。

### 主な内容

#### <年間を通した全学年での活動展開>

季節ごとに地域の方のご指導を受けながら農作物の栽培活動を行っている。また、田んぼでは地域の方の指導・支援を受けながら保護者の協力もおおき、お米づくりを体験している。また、コロナ禍以前は水があたたかくなる 6 月頃から鶴見川に入っの調査・探究活動も行っていた。

こうした活動は、体験学習カリキュラムとして生活科や総合的な学習の時間に位置づけて取り組み、学習の成果や地域とのつながり、感謝を毎年「ふれあいフェスティバル」の中で、地域の方や保護者に向けて発表している。

## ＜丸山での学習＞

5年生では和光大学の堂前先生を講師として来ていただき、丸山に生息する動植物について解説いただいた。丸山に生息するキンランが増えてきたことや、貴重な動植物がこの山にはたくさん生息していることをお話の中で教えていただいた。

6年生では、一年間を通して総合的な学習の時間で丸山での体験活動を行う。4月は丸山に入り、自然の観察をするとともにタケノコを収穫する活動を行った。活動を通して竹林の手入れの必要性を学んだ。収穫したタケノコは学校給食の自校献立として全校に振舞われた。子どもたちにとって身近な自然の恵みを食すことで自然への興味・関心や大切にしようとする気持ちを培うことができた。また、和光大学の堂前先生、斎藤先生にもお話しいただく機会を設け、お話の中から丸山が子どもたちにとってより身近なものに感じられていた。

7月には、地域の方や川崎市みどりの建設緑政局、PTA や OB 会の方を含め下草刈り作業が行われた。それらを通して、里山は人が竹の伐採や下草刈りなどの定期的な手入れすることで、より良い自然として活用できることを学んだ。また、11月には竹の伐採作業を行い、竹害を防ぐとともに、切った竹はPTA バザーで活用された。

丸山で活動してきたことをもとに、後期からは丸山のことについて子どもたち一人一人が課題をもち、解決するような活動に取り組んでいる。今年度は「イツツ岡上ワールド」をテーマに資料から調べたり、調べたことを試してみたり、実際に作ってみたりする活動を行った。活動をしてきたことをまとめ、2月の「ふれあいフェスティバル」では、お世話になった方々や地域の方々、保護者の方に発表する機会を設けた。



タケノコの収穫



丸山の生き物や植物の学習



観察の様子

## ＜栽培から収穫＞

本校では栽培から収穫して食べるまでの一連の活動を食育活動と位置付けて行っている。

低学年のサツマイモ栽培をはじめ、各学年で野菜の栽培活動を行っている。

3年生は、㈱カジノヤの指導を受けながら大豆栽培を行っている。収穫した大豆を使った納豆などの加工品などを作っている。4年生は、地域の方の指導のもとできゅうりの栽培を行い、種から育てる難しい方法ながらも、毎年抱えきれないほどの収穫をあげている。6年生はジャガイモと大根を栽培している。収穫した野菜はお世話になった方に配った。

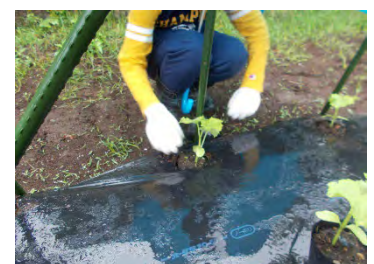
いもほり



枝豆・大豆づくり



きゅうりの栽培



5年生は、毎年田んぼでの米づくりに取り組んでいる。地域の方にたくさんの協力をいただき、田植えや稲刈りだけでなく畔塗りから収穫後の脱穀・精米まで、一連の米づくりに関わる体験活動を行っている。いままでは精米した米をバザーで餅にして販売されたが、コロナの影響で収穫した米を全校に配布し、5年生が作ったもち米を各家庭で味わってもらった。また、給食の献立でもち米を使うことで、他の学年の子どもたちも5年生の米づくりについて知ることができる良い機会になっている。また、収穫の一部を次年度の種粃とし、一粒の粃からたくさんのお米へとつながることを実感している。

毎年、お米を育てる作業についてふりかえり、その取組やそこからさらに課題を広げて調べたことを『ふれあいフェスティバル』で発表している。また稲わらを使い、毎年地域の方に縄ないを教わっている。



稲刈り



田植え

### 子どもの成長から

岡上の地域素材を生かした豊かな体験活動を通して、子どもたちは豊かな心を育むことができている。自然や生命の尊さを実感するだけでなく、友だちと協力し合いながら取り組むことの良さを感じることができている。また、たくさんの自然に囲まれて体験活動することで、栽培活動の大変さを実感することができ、ありがたさを感じることもできる。

さらに、活動を通してお世話になった人への感謝の気もちや、地域への愛着が芽生えてきている。子どもたちは地域を生かした教育活動を通し、自分のふるさとである「岡上」を大切にしたいという気持ちをもってほしいと思う。

今年度の「ふれあいフェスティバル」では、全学年とも体験活動で得たことを中心に、学年に応じた工夫を取り入れ発表を行った。子どもたちは他の学年の発表を聞くことで、見通しをもって体験に取り組むこともできた。体験を通して、どの子も自分で調べたことやまとめたことに自信をもつことができた。このような成長を支えている里山（岡上丸山）を生かした教育活動を今後も大切にしていきたいと考えている。





# 川崎市立 虹ヶ丘小学校

住所 〒215-0015 川崎市麻生区虹ヶ丘 1-21-2 電話 044-987-1579

## <学校の歴史>

1976（昭和51）年4月1日

## <学区域>

虹ヶ丘 1～3 丁目

早野 1150 番

王禅寺 228～232 240～320 325～370 399～401

407～422 524～561 563 565～567

930～971 977 981～1022 1028

1037～1058 1063～1177

1180 番 4, 6 号 1181 番地

## 校歌

- 1 大空高く 風かおる  
みどりの多摩に われら いま  
真理の道を 学びゆく  
ああ 虹ヶ丘小学校  
若い力に 誇りあれ
- 2 山影遠く 澄みわたる  
文化の丘に われら いま  
楽しい集い 育ちゆく  
ああ 虹ヶ丘小学校  
清い心に 誇りあれ
- 3 輝く虹を 仰ぎみる  
ひとみは燃えて われら いま  
未来の望み 築きゆく  
ああ 虹ヶ丘小学校  
開くあしたに 誇りあれ

## 「早野の自然体験」

### ①早野オリエンテーリング（全校児童）



早野緑地は、教室の窓からいつでも見ることができ、子どもたちの中になじみがある場所のひとつですが、起伏のある地形や近くに民家がなく人も少ないということもあり、普段は遊ぶ場所とはなっていない。本校では、自分たちの住む地域の豊かな自然を感じられるこの早野緑地を少しでも身近に感じられるよう、毎年秋にたてわり班によるオリエンテーリングを実施しています。5年生がリーダーとなり、自分たちで考えた早野にある植物や炭焼き小屋での炭作りに関する問題に、グループの皆で取り組みながら、自然の豊かさを感じています。

### ②芋掘り（1年生）

本校では「早野聖地公園里山ボランティア」の皆さまのご厚意により、毎年1年生が早野緑地で育てられているサツマイモの芋掘りを体験させてもらっています。子どもたちは、「自分の顔よりも大きいぞ」「土って、さわると気持ちがいいね」「晩ご飯に、これを使って何を作ってもらおうかな」などと話しながら、しぜんと顔がほころんできます。自然の恵みのありがたさを感じるとともに、子どもたちの幸せそうな表情に和まされる秋の一日です。





# 川崎市立 南百合丘小学校

住所 〒215-0017 川崎市麻生区王禅寺西 1-26-1 電話 044-966-6376

## 〈学校の創立〉

1969(昭和44)年11月22日  
百合丘小学校より分離独立し開校  
(学校ホームページをご覧ください)

## 〈学区域〉

王禅寺西 1~4丁目  
王禅寺東 1丁目 1番 5~25号, 2~17番,  
19番  
王禅寺東 2丁目 1~12番, 13番 1~17号, 14番  
王禅寺東 4丁目 1番  
上麻生 2丁目  
高石 5丁目 6~15, 23~28番  
高石 6丁目  
東百合丘 4丁目 34, 35番  
百合丘 3丁目

## 校歌

サトウハチロー作詞 渡辺浦人作曲

1. 肩をならべて 仲よくかよい  
毎日正しく 学ぶわれら  
空の青さを よろこびたたえ  
心にみどりを かさねるわれら ※
2. 声をあわせて 楽しくうたい  
からだをきたえて 進むはわれら  
枝の小鳥と 言葉をかわし  
花にもやさしく ささやくわれら ※
3. 日ごと日ごとに ひろがる希望  
あかるい笑顔で はげむはわれら  
胸の願いを つらぬき通し  
たがいに規律を まもるはわれら ※

※われらの母校 南百合丘  
かがやく かがやく 南百合丘

## ☆やすらぎの森って何？

南百合丘小学校には、校庭の外周の南側斜面、および東側斜面に自然観察の場「やすらぎの森」があります。約120種類の豊かな植生を基本にしながら生き物が住む環境を作り、子どもの探求心を刺激する「不思議な森」にすることを目的として、下草を刈り、木を植え、様々な植物や昆虫が共生する自然観察の場として活用しています。また維持管理のために地域の方、保護者や施設開放団体による年3回の除草作業をPTA活動として行っています。本校では、この「やすらぎの森」を活用した学習に取り組んでいます。今回は5年生と3年生の総合的な学習の時間と1年生の様子を紹介します。



## ☆5年生 総合的な学習の時間

### 「めざせ！環境マスター」

児童の課題意識を高めるために、身近な自然について話し合いました。さらに「やすらぎの森」の学習に協力していただいている地域の方からお話を聞き「やすらぎの森」への思い、里山の概念について知りました。また、5年生のハヶ岳自然教室の学習とも結びつけ、自分の課題を決め、調べる計画を立てました。自然について知りたいことを自分の課題に沿って調査したり、インタビューをしたり、様々な方法で情報収集していきました。そして自分が調べたことを友達に伝えるためにわかりやすくまとめて交流しました。



コロナ禍の中で十分な調査活動はできませんでしたが、身近な自然や里山にいる植物や生き物のこと、「やすらぎの森」の歴史などについて学習を通して理解することができました。

また、この学習を通して「今度は自分たちがやすらぎの森を守っていききたい」という思いをもち、これから先もこの森を残していくために何が必要か、その中で自分たちにできることは何かを考え始めています。

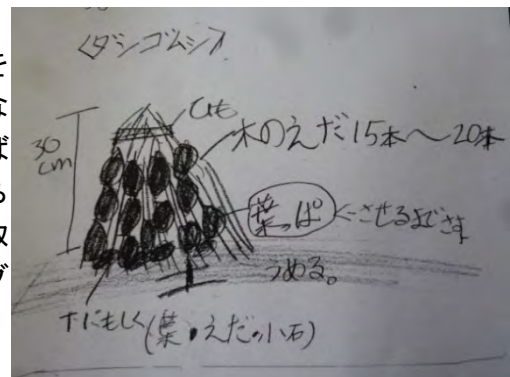
### ☆3年生 総合的な学習の時間

#### 「みなみゆりの大好きな所」

3年生は、みなみゆりの大好きな場所のひとつである「やすらぎの森」のすてきな所を学校中の皆に知らせたいという思いをもち、一人一人が課題を立て、同じまたは似ている課題の友だちと計画して実践をしていきました。以下は子どもたちの設定した課題グループの例です。

- ・やすらぎの森のすばらしさをポスターなどで伝えたい
- ・パンフレットを作り図書室や昇降口に置きたい
- ・木の実や草花を使った遊びを紹介したい
- ・腐葉土を作ってカブトムシの幼虫を育てたり、ダンゴムシのすみかを作ったりしたい
- ・多くの野鳥が集まる森にしたい
- ・花を植えたい
- ・散策路の整備や掃除をしたい
- ・大きな看板を作ってアピールしたい など

グループでの話し合いでは、安全、費用、規模などを視点にし、実現可能な計画なのか考えました。不可能な場合はやめてしまうのではなく、どんな活動に変えればできそうなのか話し合いを重ねていきました。自分たちで自主的に立てた計画なので、子どもたちは意欲的に取り組んでいました。今後は、実践と振り返りを行い、グループ毎に発表をしていく予定です。



### ☆1年生 生活科「秋さがし」

1年生は、秋をさがしに6年生のお兄さんお姉さんと一緒に「やすらぎの森」を探検しました。字が書ける不思議な葉やきれいな色をした木の実、クリやドングリなどをいっぱい集めて、秋を堪能していました。

異学年交流が難しい期間が続きましたが、「やすらぎの森」のあちらこちらから子どもたちの明るい声が響いていたのは、本当に嬉しいことでした。



私たちがこれらの学習で目指す子どもの姿は、「身近な地域の自然や里山に関心をもち、自然や里山を守る人々の取り組みや思いを調べたり体験をしたりする活動を通して、自分たちの生活と地域の自然とのかかわりに気づき、地域の一員として地域の自然や里山を守るために自分たちができることを考えて実践しようとする子」です。

これからも南百合丘小学校の宝である「やすらぎの森」を本校の特色ある学習の場として活用していきたいと考えています。



# 川崎市立 百合丘小学校

住所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘 2-1-2 電話 044-966-3550

## <学区の創立>

西生田小学校より分離独立し  
1965(昭和40)年開校

## <学区区域>

高石4丁目  
高石5丁目1~5、16~22番  
百合丘1, 2丁目  
万福寺2丁目4~21番  
万福寺3丁目12番  
万福寺4丁目1~3番

## 校歌

1

明るい風が 吹きわたる  
緑の丘に 美しく  
広がる校庭 高い窓

ここよ明日の日に 咲き開く  
文化の花の 育つところ  
名も百合丘 百合丘小学校

3

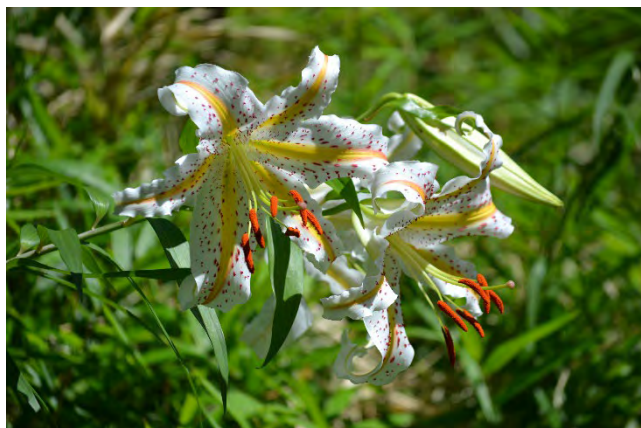
香りも清い 白百合を  
校旗に高く 誇らしく  
理想と仰いで 私たち  
進め歌声も 高らかに  
宇宙の世紀 称えながら  
おお百合丘 百合丘小学校

2

日本の歩み そのままに  
日に日に伸びる 川崎の  
希望をになって 私たち  
みんな健やかに 朗らかに  
集まり学び 励むところ  
おお百合丘 百合丘小学校

## <よみがえらせようヤマユリの花を>

百合丘小学校の子どもたちが学校のシンボルフラワーとしてヤマユリの栽培活動に地域の方とかかわったのが創立40周年のときからです。ヤマユリは地域の住民から郷土のシンボルとして愛され親しまれてきた花でもあります。昨今、ヤマユリの球根が手に入りづらくなってまいりました。大変高額であったり、手に入れられたとしても本物のヤマユリではなかったりすることもあります。そこでこの3年間、地域のご賛同者の方々のご協力のもと、ヤマユリを種から育てようと試みています。今年度も1年生が種植を行いました。球根に比べ種から育てるのは難しいと言われていました。ゆりっ子森できれいなヤマユリが咲くことを楽しみに、大切に育てています。この活動を通して子どもたちに自分たちが住んでいる地域を愛する心情を育てていきたいと考えています。





## <今、自分にできることを！>

6年生は総合的な学習の時間で自分たちの身近な生活の中に、世界の国々とのつながりがあることに気づき、探求しました。その中で世界の国々の間には様々な課題があることを知り、自分たちで取り組めることがないか考えました。各学年の学習発表会に来校する保護者の皆さんに募金を募ったり、全校に呼びかけて、古着をあつめ、古着回収を行っている店舗に持ち込んだりと、クラスごとに様々な活動をしました。その中で、身近な地域のためにも何かしようと考え、道をきれいにしたいという意見が出ました。

百合丘小学校は昭和40年に開校しました。バス通り沿いに植えられた、ゆりっ子森の木々は開校55年を超え立派に成長していますが、秋になると落ち葉が歩道を覆ってしまいます。また、近隣の店舗にも落ち葉が舞い込み、ご迷惑をおかけしているところです。そのことに気づいた子ども達は、落ち葉掃きやごみ拾いを行いました。自分たちの住む町を考えることをはじめの一歩として、いろいろな国々を含んだ、環境問題についても関心を持ち、行動を起こせるようになることを期待しています。





# 川崎市立 長沢小学校

住所 〒215-0012 川崎市麻生区東百合丘 2-24-7 電話 044-954-5144

## 〈学校の創立〉

1976(昭和51)年 川崎市立長沢小学校として  
南百合丘小学校、生田小学校より分離

## 〈学区域〉

長沢3丁目18～20番  
長沢4丁目  
南生田2丁目21～27、29～31番  
南生田4丁目19～25番  
王禅寺東1丁目1番1～4号、35～38番  
東百合丘1～3丁目  
東百合丘4丁目 1～33、36～49番

## 校歌

大澤功一郎 作詞  
西崎嘉太郎 作曲

みどり豊かに 空青く  
菜の花ゆれる 長沢に  
光り輝く わが母校  
ああ 明るく学ぶ  
われらの 長沢小学校

鎮守の森に こだまして  
楽しくはずむ 歌声は  
丘にそびえる わが母校  
ああ 仲よく進む  
われらの 長沢小学校

夢は大きく はばたいて  
学びの庭に 幸せの  
心あふれる わが母校  
ああ元気に伸びる  
われらの 長沢小学校

## ■長沢小学校

### 〈取り組み項目〉

総合的な学習 緑のカーテン

## 長沢小の歴史をさぐろう～菜の花復活大作戦～(3年)

総合的な学習の時間「長沢小の歴史をさぐろう～菜の花畑復活大作戦～」で長沢小学校や長沢のまちの歴史を調べた3年生は昔の長沢のまちの様子や、自分が生まれる前の学校の様子、校歌や校章にこめられた思いなどたくさんを知りました。

自分たちが住むまち長沢や長沢小学校の長い歴史を知ったことから「昔はたくさんあった菜の花畑を復活させたい。」「学習して知った歴史を伝えたい。」「学習の中で出会った長沢のまちにいるすごい人を紹介したい。」などと一人一人が自分のめあてを立て学習に取り組みました。そして、学んだことをグループで共有し、画用紙や模造紙などにまとめて発表しました。



(長沢小学校の校章の由来)

「学校のまわりには菜の花がいっぱいですよ。」という当時の校長先生の話から、元気に学習している子どもたちの姿を想像し菜の花をもとにした校章が考えられました。

### そなえて安心・安全ばっちり(4年)

総合的な学習の時間「そなえて安心・安全ばっちり」で防災について探究し、知ったことや自分たちが考えたことを家庭や校内に広めたいという思いをもちました。そして、長沢全体の防災力アップをはかりたいと考え、まずは「The 菜の花 day」で発表し保護者の方々に伝えることにしました。

当日には「自助・公助・共助」についての説明や備蓄しておいた方がよい物の紹介、災害が起きた際の動きなど、調べたことを上手にまとめ発表しました。模造紙や画用紙だけではなく、GIGA 端末のスライドなども活用しわかりやすく伝えることができました。



### 長沢エコプロジェクト(5年)

総合的な学習の時間「長沢 eco プロジェクト」で、社会の問題とSDG s 17の目標に触れ環境問題を中心のその背景や原因について調べたいという思いをもちました。自分たちで追究する課題を設定し調べていくとともに、海の落語プロジェクトを通して海で起きている環境問題を考えたり、海外で環境問題に取り組んでいる方とオンラインでつながり日本以外の取組を知ったりしました。

自分たちで収集した情報や、いろいろな方から聞いたことをもとに自分たちが取り組めることを考えました。そして、海洋プラスチック問題を解決するためにストローを減らす方法を考え提案したり、地域の現状を調べて解決方法を考えたりしました。そして、多くの人に現状伝え協力してもらいたいと保護者の方々にまとめて発表しました。



### 長沢レジェンドストーリー～わたしたちのキャリアプラン～

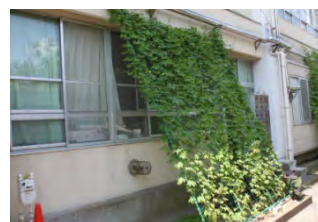
総合的な学習の時間「長沢レジェンドストーリー～わたしたちのキャリアプラン～」で、なりたい自分になるためには、自分を見つめなおすこと、自分のやりたいことに向かって努力すること、自分を見つめ直すことが大切だと考えました。また、自分の身近にいる大人やPTAの役員の方などに話を聴き、仕事に対する誇りや自分が大切にしていることを知ることができました。

そして、想像する未来の自分の姿にむけて、今の自分が取り組めることやこれから挑戦したいこと、大切にしていきたいことを考え発表しました。



### 緑のカーテン

職員室前の一角にゴーヤを植えて緑のカーテンを作りました。





# 川崎市立 真福寺小学校

住所 〒215-0014 川崎市麻生区白山 5-3-1 電話 044-988-4348

## <学校の創立>

1982（昭和57）年4月1日  
（東柿生小・柿生小・南百合丘小より）  
開校記念日は11月29日

## <学区域>

王禅寺西5丁目  
王禅寺西6丁目1、3番～最後  
王禅寺西7丁目  
王禅寺西8丁目1～23、25番1号  
王禅寺東4丁目  
28～30・36番1～36・41号・37番  
白山5丁目（アカシア）

## 校歌

S.57. 7. 15 制定

作詞 須田高志 作曲 佐藤二美子

1. 緑あふれる 高台に 元気な声がこだまする  
真福寺の子は 若竹のように 今日もみんなで  
きたえます くじけぬ心 じょうぶな体
2. 風さわやかな 校庭に 明るいあいさつ  
ひびいてる 真福寺の子は 山百合のように  
やさしく胸に 育てます ふれあう心  
深い友情
3. 光みなぎる 教室に かしこいひとみ  
かがやかし 真福寺の子は 太陽のように  
希望にもえて 学びます  
世界に通う 真理の道を  
ああ われら真福寺 小学生

## ① 自然に恵まれた学校

山を切り開いた場所に建設された本校に緑豊かな学習環境に整備しようと、開校当時の保護者・地域の方々がたくさんの植樹をしました。あんず、プラム、ヤマモモ、ブドウなどの果樹があります。とりわけ校内にある竹林は、本校のシンボルです。開校40周年ではキャラクター「きょうりゅうくん君」が生まれ、様々な行事で活躍しています。

40周年事業として校庭のスタンドに児童が絵を描いたり、正門を整備したりしました。



中庭の竹林



きょうりゅうくん



校庭のスタンド



正門横の壁

## ② 5年生稲作体験（井上俊夫さんの田んぼ）

本校では、5年生が、社会科の学習と総合的な学習の一環として、元PTA会長の井上さんの田んぼをお借りして稲作体験を行っています。田植えや稲刈り、脱穀といった米作りの初めから終わりまで体験することで、毎日食べているお米を大切に思う気持ちが育っています。収穫したお米は、調理実習「ご飯と味噌汁を作ろう」に使い、おいしく食しています。また、「寺子屋わかたけ」では、5年生が育てた稲わらで、正月飾りを作る体験活動を行いました。





# 川崎市立 金程小学校

住所 〒215-0006 川崎市麻生区金程 2-10-1 電話 044-966-5506

## <学校創立>

1990(平成2)年4月1日

## ※学校運営協議会

(コミュニティ・スクール)指定

2008(平成20)年12月1日

## <学区域>

金程1~4丁目

向原1~3丁目

校歌 作詞 新川 和江 作曲 柏木 俊夫

- 1 すこやかに育て 花咲け ゆたかにみのれ  
風が みどりの 森のことばを運んでくるよ  
われらの 金程 金程小学校
- 2 大空をめざせ はばたけ あらしの日にも  
鳥は 未来の 夢をつばさで描いているよ  
われらの 金程 金程小学校
- 3 たゆまずに学べ ときには ゆかいにあそべ  
水も さらさら 池にそそいで歌っているよ  
われらの 金程 金程小学校

## 「地域と共に子どもたちを育む学校」をめざして

### ～ 地域社会に開かれた教育課程の実現 ～

本校は、よりよい学校教育がよりよい社会を創るという理念のもと、教育目標やめざす子どもの姿を学校と家庭、地域が共有し、これからの社会を創る子ども達に求められる資質・能力を明確にして、地域社会と協働しながらその実現をめざす「社会に開かれた教育課程」を推進しています。

#### 1. 自立

#### 2. 協働

#### 3. 創造

【学校教育目標】：『 自分のよさを伸ばし、共に支え合い、よりよい社会を創造する  
“学び続ける子ども” の育成 』

【めざす子どもの姿】：「主体的に考える子」 「共に支え合う子」 「自分から行動する子」

【資質・能力】： 「自ら学ぶ力」 「人間関係形成力」 「自律的活動力」

## I. 学校教育目標の実現をめざした「里山フォーラムの各活動団体」との連携

### A. 森もりクラブ

5年生「総合的な学習の時間」の環境学習では、1年間を通して、向原の里特別緑地保全地区(くじらの森)を活用した学習をしています。里山を歩き、「森もりクラブ」の方から里山のことや保全活動のことを聞き、実際に下草狩りを体験したり、くじらの森が地域の人々により親しまれるにはどのような森にすればよいのか考えたりしました。地域の環境を未来につなげるために自分たちができることを考え、その思いを地域の方などに発信しています。



## B.麻生区特産「万福寺人参をつくろう」

2年生の総合的な学習の時間「万福寺人参をつくろう」では、里山フォーラム幹事の山崎優さんにご協力いただき、万福寺人参を育てています。

種をまき、間引きをして、子ども達と半年間育てた人参を「万福寺人参品評会」にも出品しました。「努力賞」をいただき、子ども達の励みになります。収穫した人参は給食の食材として学校の子ども達全員が味わいました。地域特産の人参を育て、食することで地域への思いを広げていく活動になっています。



## C.サツマイモを育てよう

コミュニティスクールとして、金程小学校は地域の方々にたくさんのご助力をいただいております。その一つとして、1年生が生活科の一環として行っている、サツマイモを栽培にお力添えをいただきました。収穫したサツマイモは蒸かして食べました。「世界で一番おいしい！」と自分たちで育てた、サツマイモをほおぼっていました。



## Ⅱ. 学校教育目標の実現をめざした「多様な各活動団体」との連携

### D.どんど焼き ～三町会(向原町会金程富士見会・金程町会)協働の地域行事への参加～

本校では、「学校を地域社会の核」と考え、地域と連携・協働した教育活動の充実に努めています。

1月の伝統行事であるどんど焼きには、5年生から6年生までが参加しています。どんど焼きのやぐらづくりを地域の方々から教えていただきながら、竹を組み上げ、縄で結び、萱を巻き付け、笹で全体をきれいに仕上げる一連の工程を体験しています。低学年の子ども達は、校庭の真ん中に立ったやぐらの中を見学するなど、貴重な体験もできました。

3年生の「総合的な学習の時間」の活動では、地域の方々の話を聞いたりインタビューをしたりして、金程の歴史について学んでいます。



### E.伝統文化の体験 ～越中五箇山こきりこ唄保存会との連携～

4年生の「音楽」では、日本の民謡の特徴を感じ取って、表現する学習をしています。本校では、富山県の「越中五箇山こきりこ唄保存会」の協力による伝統文化の体験学習を行っています。

こきりこを鳴らしながら唄ったり、ささらを鳴らしながら踊ったりしました。創立30周年記念式典で5年生が舞台発表を行なったことから始まり、今では毎年、4年生が体験学習として学んでいます。



## F. 稲作の体験学習 ～学校運営協議会委員の協力による環境学習～

5年生は「総合的な学習の時間」で、学校運営協議会委員の学習支援のもと、田おこしから収穫まで、年間を通して稲作体験学習を行っています。脱穀では、千歯扱きを使ったり、かつて全国を席卷した「細王舎」の足踏脱穀機を使ったりして、充実した体験活動になっています。今年度は、収穫した米を給食で活用し全校で味わいました。



## G. 「福祉学習」 ～麻生区社会福祉協議会や福祉施設等の協力による福祉学習～

2年生は生活科の「町たんけん」では老人福祉センターを訪問しました。地域のお年寄りの方と一緒にゲートボールをするなど、地域の方たちと楽し時間を過ごしました。4年生は、社会福祉協議会の協力のもと、ゲストティーチャーから多様な福祉の在り方について学び、共生社会を形成するために、地域社会の中で自分にできることを考える学習を行っています。



## H. 総合的な学習「安心 安全 わたしたちのまち 金程」

3年生は、総合的な学習の時間で金程地区の学習を行いました。金程地区の歴史や街の様子などについて学びました。その一環として、金程地区の安全マップを作る際には、毎朝、見守り活動を行ってくださっている、地域の方々から、見通しが悪い道路や街灯や人通りが少ないところなどを教えていただきました。



金程小学校は、里山フォーラムの「自然と共に暮らし、歴史を紡いできた『私たちのふる里』を再発見しながら、自然と人間の共生を考えていく」という思いを共有しています。紹介した学習活動以外にも、地域の方々や保護者と協力した「地域奉仕活動」や「安全マップづくり」等、様々な実践型の教育活動を行っています。

本校はコミュニティ・スクールとして、地域社会に開かれた教育活動が未来を創り出す子どもたちの生き方の基礎をつくるために、教職員と保護者、地域住民が“地域総がかりで子どもの成長を支え応援する”学校をめざしています。また、学校と家庭、地域との協働を通して生まれる絆を地域活性化の基盤としていける“学校を核とした地域づくりを推進していく”学校をめざしています。

これからも、子どもたちが地域に親しみを持ち、“自分の意思が社会を創る”という思いを育て、“持続可能な社会づくりをめざす市民性”を培っていきたいと思います。



# 川崎市立 栗木台小学校

住所 〒215-0033 川崎市麻生区栗木 5-15-1 電話 044-987-4633

## 〈学校の創立〉

柿生小学校黒川分校が独立する形で  
1983(昭和58)年4月1日開校  
(開校記念日11月2日)

## 〈学区域〉

栗木  
栗木1～3丁目  
栗木台1～5丁目  
栗平1、2丁目

校歌 大場貴子 作詞、川崎祥悦 作曲

- 1, 川崎の北 黒川の  
緑豊かな 多摩の丘  
自然のうたに はぐくまれ  
つよいからだで たくましく  
ああ 栗木台 栗木台小学校
- 2, 歴史のあゆみ あたたかく  
栗木の今日に つづいてる  
仲良く友と 励みあい  
あつい友情 いつまでも  
ああ 栗木台 栗木台小学校
- 3, 仰げば遠く 光る富士  
希望にむねを ふくらませ  
明日の世界を きずくため  
のぼそう知恵を かぎりなく  
ああ 栗木台 栗木台小学校

栗木台小学校は多摩丘陵を新しく開いた新興住宅地の中にあり、学区は市街化調整区域及び農業振興地域に指定された黒川地区に隣接している。黒川地区は今も谷戸地形を利用した農業が引き継がれ、里山的環境が残っている。この恵まれた環境を活用しようと、生活科や理科、社会科、総合的な学習の時間を中心に地域を学習材として様々な取り組みを行っている。今年度は創立40周年を迎え、改めて地域のすばらしさにふれることができた。

## ① たけのこ掘り



地域の方に黒川の竹林を開放していただき、5年生が毎年たけのこ掘りを行っている。たけのこ掘りのコツを教えてください、斜面に広がる竹林の中で、子どもたちはひっしに土を掘っていた。今年も立派なたけのこがたくさん収穫でき、満足そうに学校に戻ってきた。

図工の時間に絵で表現し、詩を添えました。





## ② 稲作体験



今年度もJAセレサ川崎の方の協力を得て、黒川の田んぼで5年生が稲作体験を行った。6月の田植えでは靴を脱ぎ、靴下で田んぼに入り、泥の感触に大騒ぎをしながらも優しく苗を植えていた。11月には待望の稲刈りを体験した。しっかりと実った稲穂に目を輝かせながら、慣れない鎌を手にとり収穫した。

## ③ 黒川里山体験プロジェクト



総合的な学習で里山を守る活動を知るため黒川野外活動センター所長の野口さんにお話を伺った。今後は、課題別に分かれて、竹細工・まき割り・幼虫の住みかづくり・炭づくりの体験をさせていただく予定。創立40周年記念式典では里山の役割や大切さについて発表した。

## ④ 黒川たんけんたい

黒川の豊かな自然や文化・生活を再発見し、地域に対する愛着心を育てることを目標に4年生では総合的な学習の時間に「黒川たんけんたい」を行っている。

自分たちで黒川の歴史や自然について詳しく調べ、3年生も地域の素晴らしさを伝えるために学習を進めていく。何度も下見を重ね、黒川の情報を書き入れたしおりを作り当日を迎える。4年生がリーダーとなり、小グループを組んで地図を頼りに黒川の里山をめぐるこの学習は、里山のよさを味わうよい機会となっている。





# 川崎市立 片平小学校

住所 〒215-0023 川崎市麻生区片平 5-28-1 電話 044-987-6367

〈学校の創立〉  
1984(昭和59)年4月1日

〈学区域〉 片平 片平1丁目1~3、5~20番 片平5~8丁目  
五力田 五力田1~3丁目 白鳥1~4丁目

〈学校教育目標〉 風になろう わになろう かたらひの子

**なかよく語り合い協力しあう、豊かな人間性をはぐくむ教育**

重点目標

考えて実行する子

学び続ける子

主体性・協働

やさしく  
たくましい子

## 地域の教育力の有効活用

学校経営方針のひとつとして「開かれた学校づくり」を挙げ、地域の教育力の有効活用と地域素材の有効利用に取り組んできました。年間を通して「地域の素材、人材を生かした体験活動を取り入れた教育課程の推進」を具体的な取り組みの目標として各学年の実態に応じて様々な活動を行いました。

## 5年総合的な学習「自然とともに生きる」

5年生では年間を通して、自然や里山をテーマにして取り組みました。沢山の恩恵を得ていることを知り、その大切さについて周りの人に伝えていこうという学習をしています。

### ○「環境出前教室」(6月)

葉積緑地にて講師の方の指導のもと、様々な自然の見方について学びました。



### ○5年「田植え体験」(7月)

J Aセレサの方から教わりながら、個人用のバケツと学校の田んぼに稲を植えました。



### ○地域清掃活動(12月)

地域の方や多摩生活環境事業所の方に協力をいただき、学年ごとに片平公園や高尾根公園、白鳥公園など自分たちが遊んでいる公園をきれいにしました。自分たちの住む町を自分たちの手でよりよくしようという意識をもつことができました。



○1年「おかしあそびをしよう」(1月)

なかなか上手にできませんでしたが、友達と教え合いながら楽しく遊びました。



○2年「町探検」(5月)

生活科の学習で自分たちの町にはどういふものがあるか調査に出かけました。



○2,5年「ヤゴレスキュー」(6月)

プール清掃の前に5年生が中に入り、生活科で2年生が飼育するヤゴを捕りました。



○3年「民家園見学」(1月)

民家園では、昔の人たちがよりよくなるように様々な工夫をしていることを知りました。



○4年「片平囃子体験」(11月)

片平の地域に伝わる伝統芸能を体験しました。竹や太鼓を叩き、独特の音を楽しみました。



○4年「修廣寺見学」(12月)

12年に1度開帳されるご本尊を見に行き、和尚さんのお話を聞くことができました。



○個別級「公園で遊ぼう」(6月)

学校の隣にある片平公園で、友達と一緒に自然と触れ合いながら楽しく遊びました。



○5年身近な里山を見つけよう(昨年度)

学区である古沢に出かけました。まだ沢山の自然が残っていることを実感しました。





# 川崎市立 千代ヶ丘小学校

住所 〒215-0005 川崎市麻生区千代ヶ丘 8-9-1 電話

## 〈学校の創立〉

1984(昭和50)年4月1日

## 〈学区域〉

千代ヶ丘 1～9 丁目

細山

細山8丁目

万福寺4丁目13, 14, 21～23番

万福寺 5 丁目 20 番

## 校歌

大澤功一郎 作詞 西崎嘉太郎 作曲

1. 森のみどりにつつまれて  
富士を仰ぐわが母校  
こころ気高くすこやかに  
学び育つわれらが誇り  
いざ輝け千代ヶ丘  
ああ千代ヶ丘小学校
2. 古き歴史にはぐくまれ  
多摩に光る学び舎は  
すがた明るくさわやかに  
学び集うわれらが泉  
いざ輝け千代ヶ丘  
ああ千代ヶ丘小学校
3. 丘に勇気がみちあふれ  
あすに伸びるわが友は  
のぞみ楽しくおおらかに  
学び励むわれらが力  
いざ輝け千代ヶ丘  
ああ千代ヶ丘小学校

5年生は、総合的な学習の時間で万福寺人参を栽培することを通して、地域で伝統的に育てている人たちの万福寺人参への愛情、途絶えてしまうかもしれない現状等を把握し、地域に住む一員として地域の伝統、良さを守っていきたいという思いをもつことを目標に取り組んでいます。

## 1. 種まき

今年も、いつもお世話になっている地域に住む林さんのアドバイスで、うねをこれまでよりも高くして種を蒔きました。



↑ 指導してくださっている林さんと子ども達。  
7月5日にクラスごとのうねに種を蒔きました。

## 2. 水やり

夏休みも当番で水やりをや除草を行いました。



### 3. 定期的に成長の観察と除草・水やり

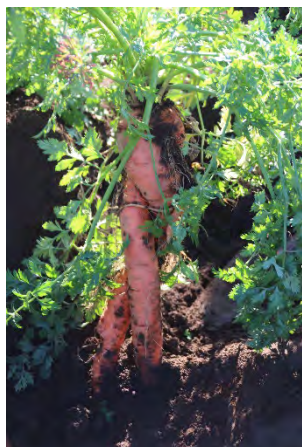


間引いた人参もビニール袋に土を入れて育てました。↓



### 4. 収穫

12月15日、クラスごとに時間をずらして収穫。うねを高くした工夫の成果か、長く伸びているものが多くとれました。ていねいに、ていねいに掘りました。

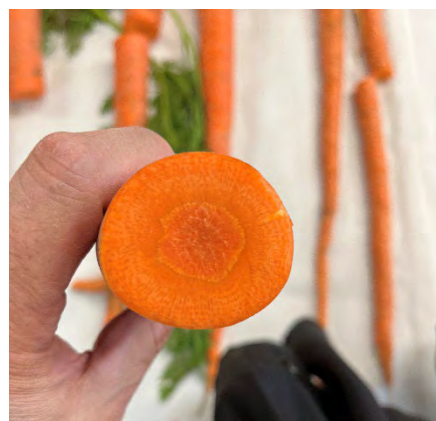


まっすぐな70cmぐらいのものやユニークな形の人参もとれました。

### 5. 麻生区万福寺人参品評会へ出品

**『色彩賞』受賞!!**

中が均一に近いオレンジ色で  
きれいということでした。 →



### 6. 学習のまとめ・情報発信

最後は、これまでの学習を通して学んだ栽培方法や工夫、万福寺人参の魅力等をテーマごとにまとめを行います。  
そして、来年度引き継ぐ4年生を中心に情報を発信します。



# 川崎市立 麻生小学校

住所 〒215-0021 川崎市麻生区上麻生 3-24-1 電話 044-954-0397

## 〈学校の創立〉

1991(平成3)年4月1日

## 〈学区域〉

王禅寺西6丁目2番

上麻生1、3丁目

上麻生4丁目1～51番

古沢

万福寺1丁目

万福寺2丁目1～3、22番

万福寺3丁目1～11番

万福寺4丁目4～12、15～20番

万福寺5丁目1～18番

万福寺6丁目

## 校歌

小川 信夫 作詞、佐藤 敏直 作曲

- 1、ひびくメロディ こぼれる笑顔  
歌のある町 花の町  
おはよう みんなで 口笛ふいて  
集う広場に 愛の鐘  
心はひとつ 麻生の子  
つくろう みどりの ふるさとを
- 2、燃える太陽 ひかりの大地  
風は踊るよ 丘の上  
今日も 明るく 励ましあって  
飛ぶよ 若鳥 雲のみね  
やさしく 強い 麻生の子  
のぼそう 豊かな このいのち
- 3、仰ぐ 夕焼け あかねの空に  
遙か またたく ひとつ星  
さよならあした 手をとりあって  
さがす 幸せ 青い鳥  
未来に 翔る 麻生の子  
ひらこう世界に このねがい

## 《地域からの学び》

《1年生》麻生中学校近くにある「ゆうゆうファーム」にサツマイモを植え、収穫を楽しみました。畑の管理は主に地域の方にご協力いただいています。生活科「むかしあそび」の学習で地域の方に講師として多数お越しいただきました。けん玉、あやとり、お手玉、竹とんぼなど、楽しい遊びを教えてくださいました。



《2年生》生活科の学習で、町たんけんとして、学区にある施設や店の見学をさせていただきました。インタビューをして、学区で働く方々の工夫を学びました。また、学区の公園も見学し、麻生の町は緑あふれる町であることを実感しました。

麻生中学校近くにある「ゆうゆうファーム」に大根を植え、収穫を楽しみました。



【3年生】 総合的な学習の時間「新発見！麻生の町～町のたからを見つけよう」の学習では、小学校前にある隠れ谷公園の環境整備に携わっている「隠れ谷倶楽部」の方をゲストティーチャーに招き、学習を深めました。公園を利用する方を思いボランティア活動をする方々の熱い思いを知り、花のお世話や落ち葉集めなどを進んで手伝いました。さらに、公園だけではなく身近な「まちのたから」を見付けようと、学区内に出かけて調べました。



【3,4年生 社会科】

3年「農家の仕事」では、地域の畑に出かけて、地元のよさをいかし、安心して美味しい野菜づくりをしている農家の方のお話を聞きました。



3年「みんなが消防士」では、消防士さんを招いて火災予防の大切さを学びました。消防車を見学したり重い防火服を着たりして、地域のミニ防災リーダー体験ができました。



4年「地震にそなえるまちづくり」では、麻生区役所の方にお話を聞いて自主防災について学びました。さらに、総合防災訓練に出向き、体験活動を通して学びを深めることもできました。



【麻生小の学習と私たちの町-大好きなまちと地域で暮らす方々-】

「社会科」「生活科」「総合的な学習の時間」の学習では、地域に出かけて学ぶ授業がたくさんあります。そこで課題解決学習の教科書となるのは、地場産業や公共施設など「地域素材」と何と言っても、農業や商業、公共サービスなどに携わっている方々である「地域人材」です。

何かと生活が制限されたここ2,3年ですが、従前と変わらず、町探検や社会見学の折のお話やインタビューで、また、オンラインでの双方向通話など工夫を凝らしての授業展開では、とても親切、丁寧にご協力いただきました。学習の度に、子どもたちにとって「まちのたから」となる新発見も多くあり、より一層地域への愛着を深める大切な学びの機会となっています。

【クリーン作戦(地域清掃)-秋の落ち葉やごみ拾い-】

毎年、11月後半から12月初旬にかけて、1～2年生は敷地内を、3～6年生は小学校近隣に出向いて地域清掃をしています。勤労生産・奉仕的行事の一環として、登下校で行き来する通学路やいつも利用する公園内の落ち葉やごみを拾って掃除します。大好きな私たちのまちをより美しく、まちのみんながより気持ちよく過ごせることを願い、日頃の感謝の気持ちも込めて活動しました。





【5年生-食育・環境教育-】

毎年、総合的な学習の時間「米作り大作戦」の学習で、5年生が田んぼを活用して稲作を行っています。春先に地域の方をゲストティーチャーに招いて米作りのイロハから教わり、その後、田植えへ向けて学年こぞって田起こしから始動しました。米の銘柄は神奈川県奨励品種「はるみ」です。また、体験的な学習だけではなく、一人ひとりが抱いた素朴な疑問をきっかけに、GIGA 端末や図書資料を有効に活用して探究的な課題解決学習を進めました。

時期	稲作暦 -主な活動内容-
4月	<b>稲作のイロハを学ぶ</b> ・ゲストティーチャーを招いて <b>田起こし</b> ・田んぼの硬い土を協力して耕す
5月	<b>調べ学習をする</b> ・GIGA 端末等を活用し米作りのし方を調べる <b>代掻き</b> ・水を張った田んぼに裸足で入って土の感触に直に触れながら作業する
6月	<b>田植え</b> ・苗のもち方等のコツを丁寧に教わり田植えをする
7月	<b>観察と水管理</b>
8月	・8月の3日間だけ花が咲くことを教わり、観察を続けて水位を調節する
9月	



10月	<b>台風対策と鳥よけ設置</b> ・風雨の度にぐんと丈の伸びた田んぼの様子を確かめ、穂先が実り始めた頃に鳥よけネットや手作りのかかしを設置する
11月	<b>稲刈り</b> ・コツを丁寧に教わり、鎌で稲を刈る <b>脱穀</b> ・かつて地域の方より寄贈された貴重な足踏式脱穀機を使って、脱穀する
12月	<b>収穫祭-感謝の集い-</b> ・感謝の気持ちを伝える収穫祭を開きゲストティーチャーに精米していただいたお米を炊いて味わう <b>麻生 SDZs-エコな稲穂の有効利用-</b> ・日本古来の伝統文化を学び、しめ縄作りに挑戦する
1月	<b>稲作-環境学習-のまとめ</b>
2月	・体験学習をきっかけに決めた探究課題を解決し、各自が発表する。







# 川崎市立 はるひ野小学校

住所 〒215-0036 川崎市麻生区はるひ野 4-8-1 電話 044-980-5211

## 〈学校の創立〉

川崎市立栗木台小学校から分離独立し  
2008(平成20)年4月1日 開校

## 〈学区域〉

黒川 南黒川  
はるひ野1~5丁目

## 校歌「輝くはるひ野」

作詞 校歌作成委員会

作曲 操 雅子

1 夢に満ちた この風は  
新しい道 生み出すよ  
三本の楠に見守られ  
さあ 歩き出そう  
出会えた奇跡を喜びに  
夢がいっぱいのこの街で  
九年を結ぶ絆  
The Blue Sky  
輝くはるひ野

2 希望に満ちた この風は  
新しい世界 生み出すよ  
黒川のひざしを感じながら  
さあ 手を伸ばそう  
永遠の夢を握りしめ  
緑あふれるこの街で  
九年で育つ絆  
The Blue Sky  
輝くはるひ野

## テーマ 「地域の里山を生かした学習活動」

はるひ野小学校の学区は、はるひ野駅を中心とした新たに開発された住宅地と黒川地域の自然豊かな里山が混在している。また、東京都町田市、多摩市との境は緑地帯があり、よこやまの道、よこみね緑地、谷ツ公園など季節ごとに様々な自然の表情を見ることができる。その豊かな自然を生かして、本校では様々な教育活動を行っている。自然物や生き物探しのフィールドとして、自然体験の場として、また、そこで活動する人々とのふれあいなど、貴重な生きた教材となっている。

特に、開校以来、4年生では、総合的な学習の時間や理科の学習で、学区の里山に出かけ、季節ごとの自然の様子を継続観察してきた。黒川谷ツ公園を観察するときは環境ボランティアである「はるひ野里山学校」の皆様のご指導を受けながら進めてきた。

### ■ 4年理科「谷ツ公園の1年間の生き物の様子を調べよう」

4月 見学1回目。谷ツ公園がどのようなところか知り、生き物の様子を観察した。

7月 見学2回目。夏になり、植物が大きく成長したことや多くの虫などが見られるようになったことを観察した。

10月 見学3回目。涼しくなり、観察できる生き物が少なくなってきたことや夏との様子の違いについて観察した。

1月 見学4回目。昆虫のたまごを探したり落ち葉や石を動かしたりするなどして、生き物の様子を観察した。

3月 見学5回目。あたたかくなり、生き物の活動が始まる時期に今年度最後の観察をする。年間通して、谷ツ公園の生き物を観察したことを振り返り、学習のまとめをする。

今年度は、生き物の変化を調べるために年間5回の見学を行った。

季節ごとに観察することで、生き物の様子の変化などを実感することができた。見学の際に密にならないように学年を2グループに分けて、見学を実施した。以前は学年が一度に同じ時間で観察を行っていたが、学年を半分に分けることで、より多くの子が谷ツ公園の方にその場で質問することができた。また、観察の際は、谷ツ公園がどのような場所か、里山学校の皆さんがどのような活動を行っているかなども話していただき、地域について知る機会にもなった。

国語の学習とも関連させ、お世話になった谷ツ公園の方にお礼の手紙を書く活動を行った。その中で、地域にある自然を守っていることへの感謝の思いを文章にしている児童も見られた。





# 川崎市立 王禅寺中央小学校

住所 〒215-0018 川崎市麻生区王禅寺東 4-14-1 電話 044-988-9700

## 〈学校の創立〉

王禅寺小学校と白山小学校を統合し、  
王禅寺中央小学校として  
2009(平成21)年5月1日創立

## 〈学区域〉

王禅寺568～929, 182～1338, 1754～1767番  
王禅寺東1丁目17番1, 5号, 18番1号,  
19番10, 12号, 20～34番  
王禅寺東2丁目13番18～27号, 15～49番  
王禅寺東3丁目  
王禅寺東4丁目2～27, 31～35, 36番37号  
王禅寺東5丁目1～46,  
47番10～20号, 52番12号  
下麻生2丁目12～14番  
下麻生978, 1135～1136番  
白山1丁目(さつき) 白山2丁目(樺)  
白山3丁目(楠) 白山4丁目(ポプラ)  
白山4丁目(楓) 白山4丁目(他)

## 校歌 「友と通う道」

- 1、みどりの大地に さわやかな風が  
ぼくらの夢をのせて そっと つつみささやく  
手と手をつないで なかまが集えば  
新しい力が 今 わいてくる  
友と語りながら 通う道 うれしいな  
たとえ つらいときも ずっと いっしょ  
明日に向かい 翼を広げ大きく  
ぼくらの夢 とどけ 宇宙へ
- 2、青空にうかぶ 真っ白な雲が  
ぼくらの希望をのせて そっと 空をめぐるよ  
心はずんで ほほえみ合えば  
新しい力が 今 うごきだす  
友と語りながら 通う道 うれしいな  
たとえ かなしいときも ずっと いっしょ  
未来に向かい 翼を広げ大きく  
ぼくらの希望 とどけ 宇宙へ  
ああ 王禅寺中央小学校

## 里山と子どもたち

### ～自然の中で季節を感じています～

本校は閑静な住宅街にあるにもかかわらず、近くには里山がたくさん残っています。昔は、この近くはみんな山林でしたが、昭和40年ごろから開発が進みました。

低学年のカリキュラムでは、季節によって色合いが変わる里山を題材にして学習をしています。子どもたちは、自然が大好き。日本の四季が味わえる里山で、今日も元気に活動しています。



## 5年生の稲作体験

～今年も豊作、おいしいお米ができました～

学校には、バス通りに面して田んぼがあります。平成23年6月に王禅寺地区にお住いの水野英雄さんのご協力のおかげで完成しました。成育に欠かせない天気「晴」と「水」から、「王中晴水田」と名付けました。



毎年5年生が農家の井上さんを講師にお招きして、田起こしから収穫、白米に至るまで一貫してご教授いただいています。井上さんは稲作のスペシャリストです。



秋には黄金の稲穂が実り、見事に収穫できました。

できたお米は、5年生のみんなで収穫祭を開いておいしくいただいています。



お手伝いしていただきましたみなさん、ありがとうございました。

収穫後の田んぼは整地して、来年も多く収穫とおいしいお米ができるようにしていきたいです。



王禅寺中央小  
学校のマスコット  
ぜんじくん

## 〔令和4年度のニュースから〕

### 東柿生小 里山学習で教育奨励賞に 地域の愛着育む授業評価



賞状と記念の盾を手に喜ぶ5年生

市立東柿生小学校（井上清一校長）は11月1日、創造性に富んだ特色ある教育の実践に顕著な業績をあげた学校を称える「教育奨励賞」（時事通信社主催）努力賞に選ばれ、表彰を受けた。お囃子などの地域の文化や、里山学習を通じて、地域住民や自然などに触れながら愛着を育む学習への取り組みが評価された。

「タウンニュース麻生区版 2022年11月25日号」より 一部抜粋

地域から田んぼなどがなくなっていく中で小学校でどんど焼きが行われました。

「長沢小学校 ホームページ」より  
菜の花日記 2023年1月15日（日）

長沢小学校の校庭で東百合丘町会のどんど焼きがありました。地域の方々が朝から骨組みをつくっていました。あっという間に出来上がり、驚きました。お天気が心配でしたが、無事にできてよかったです。「平和で穏やかな年となるように」というみんなの願いが叶いますように。

「マイタウン 2023年1月25日号」より  
地域の人々に伝統文化を継承したい  
東百合丘町会のどんど焼き  
長沢小学校校庭で再び復活



川崎市教育委員会ホームページ地域の寺子屋事業より  
寺子屋わかたけ（真福寺小学校）

どんど焼きを楽しもう

真福寺小の寺子屋は、町内会のみなさんが中心に運営されているので、地域の年中行事と体験活動がタイアップしています。1月は「どんど焼き」を小学校の校庭で実施しました。大人がつくる通常サイズのどんど焼きと、子ども達がつくるどんど焼き。町内会のみなさん手作りの「だんご」も、焼いて、おいしくいただきました。



写真提供：井上俊夫氏